



平成 26 年度

海老名市史上最大の積極予算

企画財政課 ☎(235)8453

平成26年度の当初予算は、将来の税収増につながる「次代へつなぐ新たなまちづくり」を力強く推進することで、持続可能な都市経営の継続と海老名市経済の好循環の実現を目指し、元気な海老名の新時代へ向けた「海老名市史上最大の積極予算」を編成しました。



平成26年度予算額

会計名	予算額	対前年度伸率
一般会計	413億4,300万円	5.7%
国民健康保険事業特別会計	134億4,043万9,000円	0.2%
下水道事業特別会計	31億3,112万3,000円	3.0%
介護保険事業特別会計	64億4,689万8,000円	9.0%
後期高齢者医療事業特別会計	12億1,805万円	6.7%
合計	655億7,951万円	4.7%

ことしは、「めざせ健康 すくすく海老名」海老名の元気はあなたの健康から」を合言葉に、「健康」をテーマとした各種事業に取り組みます。

●えびな市民活動センターレクリエーション館の開館(9億7900万円)

ことし11月のオープンを目指し、えびな市民活動センターレクリエーション館を建設します。

●健康マイレージ事業の創設(200万円)【新規】

参加者目標は1万人。健康づくりへの自主的な取り組みにポイントを付与し、一定ポイント以上の取り組みを行った方に、抽選で記念品を贈呈します。健康づくりへの動機付け支援と健康的な生活習慣の定着を目指します。

※その他の主要事業は4ページをご覧ください。

■市税が増えている要因は?

東日本大震災の復興財源として、個人市民税の均等割が引き上げられたことに加え、景気の上昇

により法人市民税や個人市民税が増加したことが考えられます。また、固定資産税(新增築分)の増加なども挙げられます。

■民生費が多いのはなぜ?

生活保護費や児童手当、高齢の方や障がいのある方など社会保障に関する制度の対象者が増えているからです。これは、海老名市だけでなく、全国的な傾向です。

■土木費が大幅に増えたのはなぜ?

海老名駅西口地区土地区画整理事業や、海老名駅自由通路(駅間部および西口部)事業など、将来につながるまちづくりを行っているからです。

■貯金(基金)が減って、借金(市債)が増えているようにだけど、大丈夫?

まちづくりの正念場を迎え、基金や市債をバランス良く活用し、将来に向けたまちづくりを行っているからです。しかし、24年度決算での海老名の市民1人あたりの基金は県内市の中で3番目に多く、市債は一番少なくなっています。

(※) 民生費：福祉などに支出される費用